

明倫中の教育構想2021

北海道総合教育大綱
(平成30年4月施行)

「その先の道を切り拓く
北海道人」

- ・北海道に思いを寄せる
- ・社会で自立し共に支え合う
- ・未来を切り拓く

苫小牧市教育大綱
(平成31年4月施行)

「未来の社会をつくる
ひとづくり」

- ・一人一人のニーズに応じた確かな学力を育む教育活動の充実
- ・豊かな人間性と健康な体の育成
- ・学校、家庭、地域社会が連携した信頼される学校づくりの推進
- ・家庭、地域で子どもを育てる環境づくりの推進
- ・郷土の良さを生かした潤いのある生涯学習の推進

教育目標

自ら学び、自ら律し、共に生き抜く生徒の育成

自主性・創造性を
尊び、知性に富む
生徒

深く考え、進んでやり遂げる生徒

勤労を愛し、体力・
知力ともに充実した
生徒

心と体の強い生徒

誠実・協調の精神を
もち、情操豊かな
生徒

温かい心で、助け合える生徒

基本理念

すべては子どもたちのために
『自立貢献』
～自己肯定感・有用感を高める～

- ①学校は子どものためにある。
- ②学校は子どもの学びの場である。
- ③学校は子どもの夢を育む場である。
- ④子どもを視点に据えた教育活動を精力的に推進する。
- ⑤学習指導要領の趣旨を生かし、魅力あふれる教育活動を推進する。
- ⑥教育愛と信念・情熱をもって、資質向上を目指した実践活動をする。
- ⑦厳しさの中にも優しさや愛情を持った指導をする。
- ⑧基礎・基本の確実な定着と活用力を育てる授業や学習活動の創意工夫をする。
- ⑨学級・学年・学校に文化の創造を育む。
- ⑩どの子にも居場所のある学校づくりを推進する。

学校経営の重点方針

スローガン 『 一歩前に 』
～ どうしたい? 今できることを積み上げよう ～

豊かな人間性を育て、他者の痛みがわかる人を育てる学校

- ・不登校の未然防止、個に応じた学びの場の保障
(自己肯定感や自己有用感を育む居場所づくり)
- ・いじめの未然防止
(生徒がいじめ根絶に向けた活動の充実)
- ・道徳教育の充実
(外部講師の活用、考える・議論する道徳授業づくり)

一人一人に主体的に学ぶ力と確かな学力を育てる学校

- ・新学習指導要領に基づく徹底した授業改善
(焦点化・イメージ化・視覚化、生徒の活動時間の保障)
- ・放課後学習や長期休業中の学習サポートの充実
(家庭学習習慣の確立)
- ・特別支援教育の充実
(特別支援学級の考え方を活かした学級経営・学習指導)

たくましく生きるための健康な心と体づくりを進める学校

- ・体力向上プランの確立
(体力手帳の活用、新体力テストの全学年複数回の実施)
- ・運動の日常化(運動環境の整備、保健体育授業の改善・充実)

総合的な学校力を向上させ、保護者・地域に信頼される学校

- ・「チーム学校」としての組織力向上
- ・教師力の向上
- ・家庭や地域社会との連携
- ・近隣実践校との連携(苫小牧オール9、学校教育力向上エリア会議)

目指す姿

- ①一人一人を大切にする学校
・いじめはしない、させない、許さない、一人一人の良さを認め合う生徒
- ②明るい学校
・笑顔で、仲間や教職員と挨拶ができる生徒
- ③学ぶ楽しさのある学校
・自立に向けた一人一人に応じた学びに取り組む生徒
- ④清潔な学校
・協力して清掃活動を行い、きれいな環境に心がける生徒
- ⑤時間を大切にする学校
・学習と休みの時間のけじめや行事への取組等、場面に応じた行動がとれる生徒
- ⑥魅力ある学校
・明倫中の生徒で良かった
・明倫中に通わせて良かった
・明倫中で勤務できて良かった
・明倫中に協力したい

具体的な取組事項

豊かな人間性を育て、健康な心と体づくりを進める取組

不登校への対応

- ・SSW及び関係機関との連携
- ・支援シートの活用、組織的な対応
- ・自己有用感を育む学級づくり

- ◇個に応じた組織的な支援策100%
- ◇30日以上欠席生徒前年度1割減

いじめ問題への対応

- ・アンケート及び個人面談の実施
- ・生徒が主体のいじめ根絶に向けた取組の実施

- ◇アンケート「いじめは許されない」100%

道徳授業の充実

- ・考える・議論する道徳授業の実現
- ・外部講師による体験的授業の実施

- ◇教職員評価「道徳授業関連項目」85%以上

運動の日常化

- ・保健体育授業の改善・充実
- ・体力向上プランの確立

- ◇生徒質問紙「運動が好き」80%以上

総合的な学校力を向上させ、保護者や地域に信頼される学校

学校力の向上

- ・人材育成(ミドルリーダー・若手教員)
- ・教師力(資質・能力)の向上
- ・働き方改革(勤務時間、部活動)

家庭・地域との連携

- ・学校の取組の発信(学校だより、HP)
- ・家庭学習の推進
- ・「学びの3か条」推進による生活習慣の確立

近隣実践校との連携

- ・学校教育力向上エリア会議
- ・教科、道徳における実践交流
- ・特別支援教育における支援体制の充実
- ・生徒指導等の情報共有

一人一人に主体的に学ぶ力と確かな学力を育てる取組

徹底した授業改善

- ・苫小牧市共通取組事項(焦点化、イメージ化、視覚化)の徹底
- ・課題と正対したまとめ、振り返り

- ◇アンケート「授業がわかる」全教科60%以上

学習サポートの充実

- ・放課後学習会、長期休業中の学び直しの機会の充実
- ・小学校と連結した家庭学習の推進

- ◇年間回数80回以上の実施

新学習指導要領の適切な実施

- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・授業中の生徒の活動の保障

- ◇授業中の説明時間1.0%削減

特別支援教育の充実

- ・通常学級における支援や配慮を要する生徒への手立ての確立
- ・個別の支援計画の活用

- ◇個別支援計画の基づく情報共有(月1回)及び効果的な適切な指導